

# 志津消防署高規格救急自動車更新



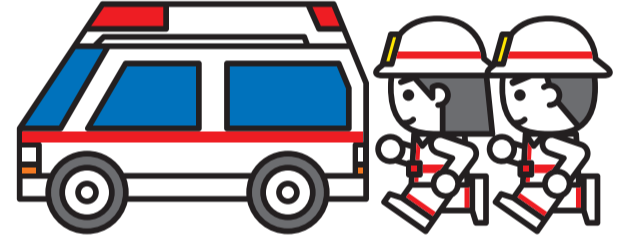
令和3年3月、志津消防署に配備している高規格救急自動車を更新しました。この車両は、以前の車両よりもLED灯や反射材が多く使用され、救急活動時における安全性及び視認性が向上しています。

また、車内に配備される救急資器材についても救命率の向上に資する装備が追加されましたので、一部をご紹介します。

**①自動心臓マッサージ器**  
この資器材は、今まで救急隊員が実施していた胸骨圧迫(心臓マッサージ)を機械の力で自動圧迫できるものとなっています。人間の力では的確な深さや速さで絶え間なく圧迫することを長時間持続するのが困難な場合や、現場から車内までの搬送時に有効な胸骨圧迫が出来ない時などに使用することで懸念が解消されます。



**②オゾン発生装置**  
こちらの資器材は、救急車内に常時オゾンを生じさせることにより、ウイルス等の消毒効果や消臭効果があります。低流量でオゾンを生じさせるため、人体に影響は無い仕様となっています。



CBRNE机上訓練/新任者教育訓練 ..... 2  
 秋季全国火災予防運動実施/住宅用火災警報器設置/感震ブレイカー設置/消防音楽隊 ..... 3  
 消防協力者表彰/災害発生状況/庁舎改築のお知らせ/情報公開制度等の実施状況 ..... 4



## 緊急消防援助隊

National Fire Service Team for Disaster Response

**緊急消防援助隊PR動画の紹介**

平時時においては、それぞれの地域で消防責任の遂行に全力を挙げる一方、国内のいづれかの地域で大規模災害が発生した場合、全国から消防部隊が集中的に被災地に出動し、人命救助等に当たる「緊急消防援助隊」のPR動画が総務省消防庁により作成されましたので、是非ご覧ください。

平常時においては、それぞれの地域で消防責任の遂行に全力を挙げる一方、国内のいづれかの地域で大規模災害が発生した場合、全国から消防部隊が集中的に被災地に出動し、人命救助等に当たる「緊急消防援助隊」のPR動画が総務省消防庁により作成されましたので、是非ご覧ください。



▲総務省消防庁動画掲載ページQRコード

## 救急車適正利用のお願い!!

消防組合では年間約1,300件の救急出動をしております。その内訳は軽症(入院が必要ない傷病者)が大部分を占めているのが現状です。

救急車は、災害や急病等で「緊急」に病院へ傷病者を搬送するためのとても大切な市民の共有財産です。「緊急」とは、迅速に病院へ搬送し、医師の治療を受けなければ生命に危険を及ぼす状態等をいいます。他手段(家用車、公共交通機関等)が利用できるよ

今、本当に救急車を必要としない明らかな軽いけがや病気が、救急車での搬送対象といえるでしょうか?救急ご協力をお願いします。



(右)消防司令補 中久木 圭樹 (左)消防士長 鶴田 正博

このように、消防組合では研究・発表を通じて救急活動の質を高め、救命効果の向上を図り、住民の皆様信頼される救急隊員を目指し、日々邁進しております。

次回「第30回全国救急隊員シンポジウム」は令和4年1月27、28日の2日間、群馬県高崎市にて開催されます。今後も全国救急隊員シンポジウムに積極的に参加し、救急業務の推進に努めてまいります。

## 全国救急隊員シンポジウムで演題発表!

令和3年1月28、29日の2日間において開催された「第29回全国救急隊員シンポジウム」に、消防組合から2名が発表者として参加しました。

大阪府堺市で開催された今回のシンポジウムは、残念ながら新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑み、「WEB開催方式」となっていました。しかし、当日の配信サイトへのアクセス数は、2日間で延べ197,212件あり、多くの方に2名の発表を見ていただき、大きな成果を収めることができました。

## CBRNE災害机上訓練を実施

令和3年6月8、9日の2日間、消防組合管内各消防署所、各課から人選された職員が集まり、CBRNE災害机上訓練を消防本部災害対策室にて実施しました。

CBRNE災害とは、英語で化学（Chemical）・生物（Biological）・放射性物質（Radiological）・核（Nuclear）・爆発物（Explosive）を指す頭文字を組み合わせた言葉の総称で、テロ攻撃の手段や大規模な事故災害の原因となり、従来まではNBC災害と言われていました。

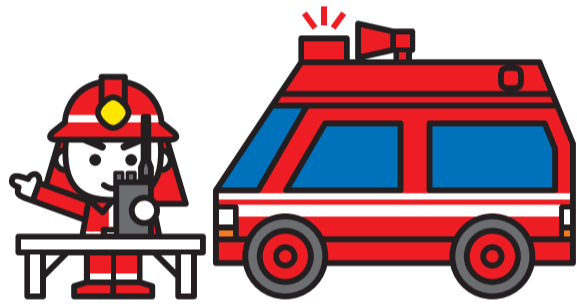
近年、大多数が集まる場所でのテロ行為が世界各国で発生しており、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場でのテロの脅威が現実のものとなっています。



そこで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた準備訓練と位置づけ、CBRNE災害についての指揮要領及び活動の統率、現場活動を円滑、迅速に行うことを目的とし、机上訓練、教養、除染作業訓練を実施しました。

机上に広げられた地図を見ながら行った机上訓練では、有毒ガスにより傷病者が多数発生したという想定で、どのように活動したらよいか、どのようにして住民を安全な場所へ救出することが出来るのかを話し合い、各隊（指揮隊、消防隊、救助隊、救急隊）の連携の取り方を確認しました。

今回の机上訓練の他にも多くの訓練に励み、いつ発生するか分からない多様な災害に備え、日々、知識や技術の向上に努めております。住民の皆様への安心安全を守るため、今後も継続して訓練に取り組んでまいります。



## 令和3年度 新任者 教育訓練実施

令和3年4月、新規採用職員を対象とした教育訓練を実施しました。

約1か月にわたり行われた訓練は、警防隊員として災害現場での消防活動に従事し得る基礎を築くことを目的としています。

コロナ禍であっても、災害に備え訓練することには変わりはありません。新任消防士達の今後の活躍にご期待ください。

### 新任消防士のコメント

消防士 星祐斗

「私は消防士になることが目標であり夢でした。当初は採用されてから1か月後には配属されるといふ不安がありました。現場に出れば私も一人の消防士です。訓練を終えた今、責任感を持って、子供達に憧られる消防士になることが私の目標です」

消防士 森川由輝彦

「1か月の訓練を終え、多くの収穫がありました。消防はチームで活動します。チームの一員としてもっと広い視野を持って気配りしなければと思います。訓練を終えた現在は、自信を持って配属先へ向かう事ができます。目標である救助隊員になるために、これからより一層精進していきます」

消防士 淀充甫

「制服に袖をおし、消防長から一人一人に拜命を頂き、一般人から消防士になる瞬間は、今まで味わったことのない高揚感がありました。訓練中は同期と切磋琢磨しながら、現場に即した形ができるようになりました。最後には、1か月共に訓練を受けてきた同期の仲間と一つのことをやり遂げられた達成感を味わいました」



佐倉市八街市酒々井町消防組合ツイッター公式アカウント  
緊急情報及びイベント等についてツイートしています。  
ぜひ、フォローをお願いします。

QRコード



佐倉市八街市酒々井町消防組合公式ホームページ (PC)  
住民の皆さん及び事業所の皆さんへお伝えしたい情報を掲載しています。  
※読み取ったアドレスをパソコンに転送しご覧になるか、スマートフォンなどでご覧ください。

QRコード



# 秋季全国火災予防運動実施 (11月9日～15日)

【統一標語】  
おうち時間 家族で点検 火の始末

この運動は、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として毎年実施しています。

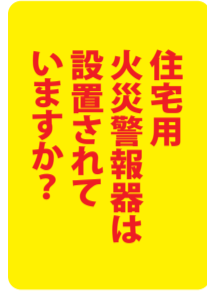
## 住宅防火のちを守る 7つのポイント (3つの習慣・4つの対策)

### 命を守る3つの習慣

- ①寝たばこは、絶対やめる。
- ②ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

### 命を守る4つの対策

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ②寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



### 住宅用火災警報器の取付場所

- ①寝室：就寝に使用するすべての部屋に設置が必要です。
- ②階段：寝室がある階の階段上部に設置が必要です。

### 維持管理について

住宅用火災警報器は、火災時に適切に作動するよう、設置した後も適切な維持管理が必要です。具体的には、

- 点検ボタンを押す・点検ひもをひっぱるなど、定期的に作動確認を行ってください。
- 住宅用火災警報器の設置が義務付けられてから10年が経過しました。設置から10年以上経過している場合は、電池切れや本体内部の電子部品の劣化により火災を感じしなくなることを考えられるため、電池や本体の交換を推奨しています。



火災に早く気づき、命を取り止めることができた  
奏功事例  
(総務省消防庁より)

- 1階の台所から出火。2階で就寝中の居住者が、階段の住宅用火災警報器の鳴動に気づき、119番通報し、避難できた。
- 居住者が寝たばこをしてしまい、ふとんから発煙し、寝室の住宅用火災警報器が鳴動。気づいた居住者が、ふとんを風呂場へ持って行き、浴槽の水に浸し、大事に至らなかった。
- 就寝中、掛け布団が電気ストーブに触れ、布団が焦がし、寝室の住宅用火災警報器が鳴動。気づいた居住者が、急いで水をかけ、大事に至らなかった。

● 居住者が調理中に就寝してしまい、鍋から発煙し、台所と寝室の住宅用火災警報器が鳴動。隣人が警報音と臭いを確認し、119番通報。

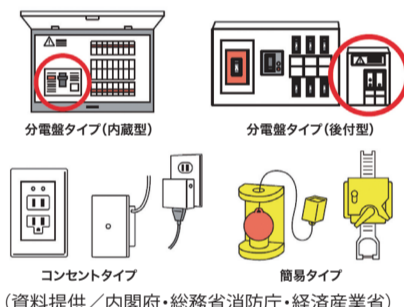
地震の時、自動で電気を遮断できる  
感震ブレーカーをつけましょう

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の出火でした。地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。

感震ブレーカーは、地震発生時に設定値以上の揺れを感じたときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。

感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切つて避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

### 主な感震ブレーカーの種類



(資料提供/内閣府・総務省消防庁・経済産業省)

## 消防音楽隊の紹介

消防組合の消防音楽隊は、住民の皆様との融和と防災思想の普及を図ることを目的とし昭和59年に発足しました。

現場活動等のかたわら月に4回程度の練習を行い、「救急フェア」や「千葉県消防音楽隊フェスティバル」などの定期的な出演を始め、佐倉市、八街市及び酒々井町が主催する公式行事等への出演を行っています。演奏の合間にAED(自動体外式除細動器)をPRする寸劇や、演奏に合わせた紙芝居を実施するなど独自の趣向を凝らし、皆様に愛される音楽隊を目指しています。

## 消防音楽隊員の任命



(左) 消防士 佐藤 太郎 (右) 消防士 櫻田 将磨

令和2年度、消防音楽隊員の養成を実施し、2名の隊員が新たに加入しました。

両隊員共に、消防職員として災害活動等の業務に励む一方で、楽器演奏の練習に真剣に取り組んだ結果、効果測定に無事合格し音楽隊員として第一歩を踏み出しました。

消防音楽隊は、音楽を通して防火や救急の普及啓発を行うという大切な任務を担っています。

今後も、地域の皆様と消防との架け橋となるよう努めますので応援を宜しくお願いいたします。



【「救急フェア」及び「千葉県消防音楽隊フェスティバル」中止のお知らせ】 令和3年度開催を予定していた「救急フェア」及び「千葉県消防音楽隊フェスティバル」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になりました。開催を楽しみにされていた皆さまには心よりお詫び申し上げます。

【ご協力ありがとうございました】

消防活動にご協力いただいた方に、消防組合から感謝状を贈りましたので、ご紹介いたします。



★消防協力者表彰  
消防長表彰

【営利会社でありながら訓練施設などを提供し、消防活動に協力いただいた団体】

大同産業株式会社  
代表取締役  
市原照公様(写真左)



志津消防署長表彰

【令和3年1月19日、佐倉市西志津で発生した建物火災における消防協力】  
泉秀一様(写真右)



佐倉消防署長表彰

【令和3年1月31日、佐倉市角来で発生した救急事案における救急活動】  
齊藤隆様



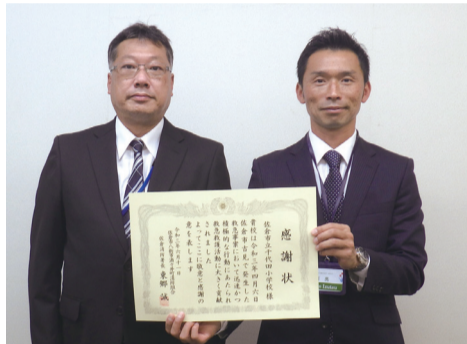
佐倉消防署長表彰

【令和3年3月31日、佐倉市角来で発生した救助事案における人命救助活動】  
浅井涼一様



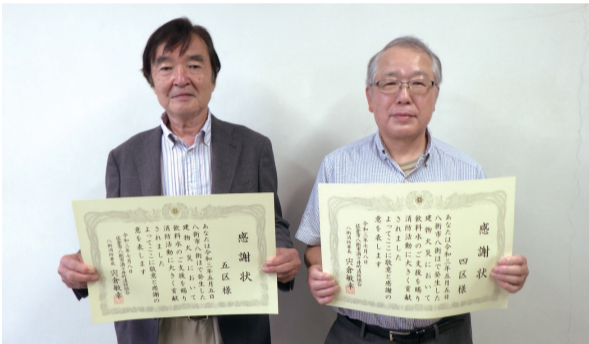
佐倉消防署長表彰

【令和3年4月6日、佐倉市吉見で発生した救急事案における救急活動】  
佐倉市立千代田小学校様



八街消防署長表彰

【令和3年5月5日、八街市八街ほで発生した建物火災における消防協力】  
四区様  
(区長 藏村清宣様)写真右  
五区様  
(区長 鈴木宏行様)写真左



令和3年前期の災害発生状況  
(1月から6月末)

火災発生状況

火災発生件数は75件で、前年と比較すると31件の増加となっています。火災種別ごとの火災発生件数は、建物火災が34件、車両火災が6件、林野火災が3件、その他の火災が32件です。

建物火災を出火原因別で見ると一番多いのが、「放火(疑い含む)」及び「こんろ」により発生した火災とともに6件、次いで「配線器具」及び「溶接・溶断機」による火災がともに3件となっています。

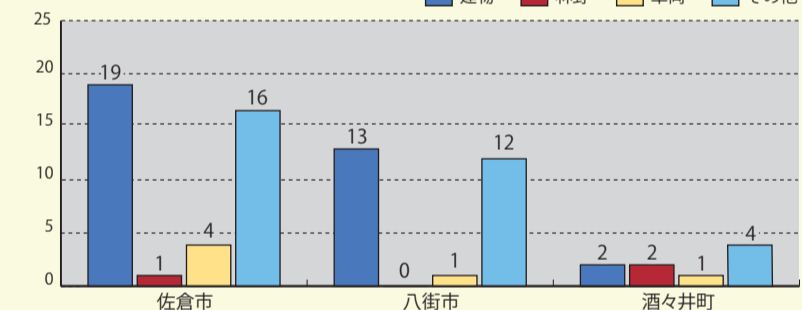
火災が多発していますので、火の取り扱いには充分注意しましょう。

救急・救助活動状況

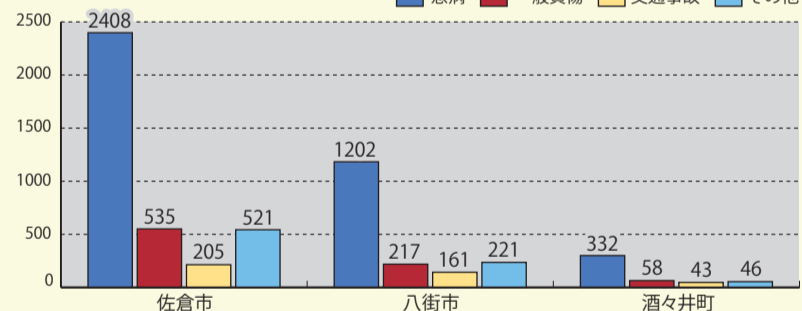
救急出場件数は5,949件で、前年と比較して140件の増加であり、構成市町別にみると佐倉市が3,669件で46件の増加、八街市が1,801件で52件の増加、酒々井町が479件で42件の増加です。

救助活動件数は、82件で前年と比較して9件の増加であり、構成市町別にみると佐倉市が45件、八街市が31件、酒々井町が6件です。

火災発生状況



救急出場状況



令和2年度 情報公開制度及び個人情報保護制度の実施状況

情報公開制度

■ 実施機関別公文書の開示請求件数と処理状況 (件)

実施機関名	請求件数	公文書件数	決定内容など				
			全部開示	部分開示	不開示	却下	取下げ
管理者	12	12	3	8	0	0	1
議会	0	0	0	0	0	0	0
監査委員	0	0	0	0	0	0	0
合計	12	12	3	8	0	0	1

※請求された公文書の主な内容…防火対象物及び危険物施設に関する文書など  
※行政不服審査会に対する不服の申出、相談及び苦情など…なし

個人情報保護制度

■ 自己情報の開示請求件数と処理状況 (件)

請求件数	公文書件数	決定内容など				
		開示	一部開示	不開示	不存在	取下げ
3	3	0	3	0	0	0

※請求された公文書の主な内容…救急に関する文書  
※行政不服審査会に対する不服の申出、相談及び苦情など…なし

八街消防署八街南部出張所庁舎  
改築工事のお知らせ

八街消防署八街南部出張所(八街市上砂48-20)は、昭和52年に竣工しました。開所後43年以上が経過し、庁舎の老朽化に伴い本年度8月から改築工事を行っており、令和5年1月の竣工を予定しております。

なお、工事期間中も八街南部出張所は通常通り業務を行っています。

工事期間中はご迷惑をおかけしますが、火災や救急の出動体制には万全を期しますので、住民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■ 問い合わせ先  
消防本部企画課  
Tel 043(481)1206

